

# プラチナ未来人財育成塾

参加報告

## たくさんの学びと思い出

菊池南中学校3年 東 采輝さん



今回プラチナ未来人財育成塾に参加し、多くのことを学び、未来のために自分は何をすることができるか考えました。たくさんの方々からお話を聞いて、心に残ったことが三つあります。

一つ目は、小宮山宏先生の「二〇五〇年の世界から自分を考えてみよう」というお話です。質的豊かさを可能にする社会（プラチナ社会）を実現するために、私は何をしなければいけないのか。そして、社会がどうあるべきなのか。色々なことを考えさせられるお話でした。その中でも「常識を疑い、制度を変える」という言葉が印象的でした。常識を疑うということは常に今あることについて考えないといけないし、自分がおかしいと思ったことに対して行動しなければ、制度は変えられないからです。そんな小宮山先生の生き方がかっこいいと思いました。

二つ目は、菊池康紀先生の「多様な解を考え続ける力とは？」というお話です。菊池先生のお話からは、リーダーとフォロワーの関係性について学びました。リーダーだけが増えていくのではなく、リーダーの次へと続くフォロワー（多様）が必要だということを知りました。そのことから、執行部だけが声かけを行っても一人一人が行動に協力してくれないと、学校が良い方向へと進んでいけないと感じました。だ

からこそ、全員が過ごしやすい学校をつくらないといけないし、そのためには、意見交流やコミュニケーションが大切だと実感しました。

三つ目に心に残ったのは、中竹竜二先生の「成功と成長を分けて考えて勝負することの大切さ」です。お話の中で印象に残ったのは、成長できない人の原因です。それは、失敗を認めない、失敗をしない人。そして、リスクを取らず、失敗が起らない状況にいる人です。私は、失敗をしたくないのでそうならないような状況を選んでしまったり、失敗をしないようにしたりしてしまいましたが、失敗をしなければ、成長することもできないということを学びました。金丸恭文先生も、中竹先生と似たような内容で、リスクを避けてはいけない。はやく行動をすれば、はやく失敗する。小さな失敗と成功を積み重ねて大きな成長にしていく。とおっしゃっていました。失敗を恐れるのではなく、どんな挑戦していこうと思いましたが、視野を広くもつことや、未来を創生することなど、たくさんのお話を講義の中から学ぶことができました。

講義だけでなく、班活動からもたくさんのお話を学びました。班の人数は、大学生やシニアの方を除いて六名でしたが、あたりまえのように一人一人自分の意見や考えがありました。みんな

の意見を聞いていて、自分の思いがなかった考えや、違う視点から物事を見ていてすごいと思ひ、おもしろいなと感じました。

そんな六名の班の人たちとも、はじめは緊張して全く話せませんでした。色々な県から来ているので、班に知っている人はいませんでした。しかし、この機会を逃したらもったいないと感じ、積極的に話しかけました。すると、自然に話せるようになり、とても嬉しかったです。積極性の大切さを実感できました。

プラチナ未来人財育成塾最後の日に「将来どんな社会にならないといけないか」という議題で、班で話し合い、まとめて発表をしました。みんなで一つのことに向かって何かをするということが楽しく、達成感を感じました。このメンバーだったからこそできた考えであり、発表でした。私は、そんな六名のメンバーに出会うことができ、本当に良かったです。

はじめは不安で一杯だったこの行事も、今しかできない経験や学びがたくさんありました。私は、そんな貴重な経験を是非たくさんの人に伝えていきたいと思ひました。将来のために自分ができること、自分の在り方を一緒に考えて見つけていきたいです。

※作文は一部抜粋